



ネット黎明期でつかんだ上昇気流

まずはこれまでの私の歩みを自己紹介も兼ねてお伝えしたいと思います。大学卒業後に入社した株式会社キーンズでは営業として中々業績が上がらず苦難を味わいます。家業を継ぐかどうか中途半端な覚悟でいたためキーンズでの過酷な競争に生き残ることができませんでした。競争に敗れ、逃げ出すように会社を辞めたい一心だけで家業に入ったというのが本当のところ。当時は家族以外の社員は男性1名、女性パート2名という所帯でした。製菓会社向けの箱やホテルアメニティの歯ブラシの箱など紙器系が主な取り扱い商品でした。設備を持たない業態でしたので厳しい価格競争にさらされ業績は青息吐息、会社倒産の不安にさいなまれるという状況でした。

先月は当社広報担当カドモン(本名：小門)が当社の成り立ちと事業内容、その社風を一部ご紹介いたしました。2ヶ月連続になりますが今回は代表の私、中田逸郎自身が寄稿させていただきます。(OGS理事 中田逸郎 (株研美社))

て日本全国から注文を受けるようになり業績は回復軌道に乗ります。ところが年々増え続ける期間集中的な年賀状の受注対応には疲弊してしまいます。もっと先進的で利益効率の良い商材は無いかと考えた時、とあるキックカケからプラスチックカード印刷のネット販売に業態シフトを進めました。これがまた上手く行き、今度は比較的無理なく業容拡大を進めることができました。2009年に念願の東京進出を果たします。その後も順調に業績を伸ばし2025年5月期において売上は7億4千万、役員・正社員で人員が24名になりました。

プラスチックカード印刷への転換、さらなる展開へ

2004年に売上シェア30%を占める製菓会社が倒産し約1000万円の負債を被った時が最大の危機で、当時社長だった父親が心労で入院する事態ともなりましたが、プラスチックカードの売上が倒産寸前の会社をかううじて踏みとどまらせました。現在は業績も財務も好調で、決算のたびに「1億でも2億でもすぐに貸します！」と銀行が言ってくるようになりました。かつて2000万円の機械購入でリースが通らず手形を切らされた苦境を思えば隔世の感があります。印刷通販のサービスが全く確立されてない2000年

代初頭において経営危機に追い込まれたことがある意味幸運だったと今は考えています。

ところがこれで将来安泰！とはゆかないものです。コロナ禍もありプラスチックカードのデジタル化、カードレス化が事業の先行きに影を落としてきています。そうした状況を打破すべく当社ではデジタル名刺 cardy card (ニアバイカード) の新規事業を始め、今ではビックカメラ、ロフトの店舗で販売されています。時代の変化を恐れるのではなく、自ら従来の事業を壊す覚悟で新規事業に挑んでいます。

また社員教育・育成、AIやRPAを活用した業務の自動化、ロボットアームによる印刷機の24時間無人稼働など、先進的な取り組みに積極的な投資を行っています。さらにこの年内に東京営業所の増床工事を実施します。通りに面したビル1階の事務所を新たに契約した同ビル2階に移し、空いた1階をデジタル名刺と他新規事業のシヨールーム兼交流スペースとしてリニューアルします。ご関心があれば、



新規事業のデジタル名刺、ビックカメラでの店舗販売

大阪本社、東京シヨールームともに是非お越しいただき、その一端をご覧いただければと思います。

本当は木原編集長からの寄稿依頼は資産運用についてでした。私は節税はおろか、資産運用、金融投資には関心が薄いのですが「仮想通貨」では大きな利益を出すことができました。ユーチューバー中田敦彦の仮想通貨解説の動画を見て、その発祥のロマンに触発され、2019年会社の資金でビットコインを250万円分購入したので。当時は1ビットコイン1100万円だったのが5年で1700万円にまで高騰しています。いくら価値が上がっても絶対に売らないと決めていました。そのスタンスが良かったと思います。

「社員の年収を1000万円に」

最後に、私が掲げている経営目標について触れたいと思います。私の掲げる目標は「社員の年収を1000万円にする」です。現在正社員は20名ですが、5年後には全正社員の年収を1000万円以上にしたいです。その実現に向け今期は役員以外でも初めて年収1000万円を達成する社員が誕生します。またその前段階として今後2年以内に年収500万円を下回る社員をゼロにしたいと考えています。

資産運用についてどのリクエストをいただきましたがこんな内容になってしまいました。私にとって最大の資産は人であり、社員に投資しその成長促進こそが最大の運用成果だと信じています。木原編集長にはどうかご容赦いただければ幸いです。

稼いだお金、皆さんはどう使っていますか。交際費や貯金で終わらせてしまえば、時代の荒波に翻弄されるだけ。世界は不安定、日本はインフレ。もはや「お金を寝かせておく」時代ではありません。せっかくの稼ぎの力は目減りするばかり。この時代に、私たち経営者はお金をどう扱うべきなのか——。答えは、これまでの常識とは少し違うところにありそうです。（OGS専務理事 佐藤 元 ㈱イデアル）

稼ぎを眠らせるな！時代は変わる

① みなさんへの問いかけ

私たち印刷業界の経営者は、日々の努力と判断の積み重ねによって、一定水準の所得を得ています。経営の舵取りを担う立場にあれば、日々の生活には困ることがない水準の収入を確保している方も少なくはないでしょう。

では、その稼ぎをどのように活用しているでしょう。取引先との交際や業界活動、あるいは家族との団欒や趣味のために支出していくこと。そして余った分を銀行口座に預金として積み上げていくこと。いずれも健全で大切な行動です。とはいえ、そうした使い道だけで「未来に資産を残す行動」を十分に取れているでしょうか。

企業経営においては、設備投資や人材育成といった「未来への投資」が欠かせません。同様に、経営者個人の資産形成においても、稼ぎを単なる消費や預金にとどめてしまえば、せっかくの

成果を活かしきれないのではないのでしょうか。

② 世界と日本の経済情勢

この問いかけが今ほど重要性を増している時代はありません。国際情勢を俯瞰すると、アメリカではトランプ政権の誕生により世界秩序のバランスが大きく揺れ動き、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化し、欧州を根底から揺さぶっています。さらに中東では、イスラエルとガザをめぐる衝突が続く、国際社会全体の不安定さはかつてない水準に達しています。

そして忘れてはならないのが新型コロナウイルスの世界的流行です。2020年以降、私たちは外出制限や経済活動の停滞を経験しました。印刷業界も展示会やイベントの中止、需要の減少など、これまでにない打撃を受けました。その一方で、各国政府による大規模な金融緩和

と財政出動が行われ、世界には過剰な資金が流れ込みました。その反動として、コロナ収束後にはエネルギーや資源価格が急騰し、世界的なインフレが進む要因となったのです。

こうした外的要因の重なりによって、日本経済も大きな転換点を迎えました。1990年代以降、日本は「失われた30年」と呼ばれる長期のデフレ期を過ごし、物価はほとんど上がらず、所得も伸びない環境が続いてきました。しかし、コロナ禍を経て円安と世界的インフレが重なった結果、ガソリン代や食料品といった生活必需品の価格は上昇し、企業活動においても原材料やエネルギーコストの負担増が現実のものとなりました。

つまり、私たちは「物価が下がることに慣れた社会」から「物価が上がる社会」へと移り変わったのです。銀行に預金を積み上げていただけでは、実質的な資産価値が年々目減りしていく——いわば「お金を眠らせるだけで価値が削られる時代」に生きているのです。

③ 古典『金持ち父さん 貧乏父さん』に学ぶ

こうした時代をどう生き抜くかを考える上で示唆に富むのが、ロバート・キヨサキ氏の著書『金持ち父さん 貧乏父さん』です。1997年の出版からすでに25年以上が経過しましたが、世界で累計3,200万部以上（別の集計では4,400万部超）が販売され、32以上の言語に翻訳されるなど、今もなお世界中で読み継がれる、資産形成のバイブルです。

本書の中で提示される「キャッシュフロー・クワドラント」では、人の働き方を「従業員（E）」「自営業者（S）」「ビジネスオーナー



筑摩書房 2000/11/9発行



所得を未来に活かす

— 投資を身近に考える

第1回

“貯める”常識から“育てる”発想へ

キャッシュフロー・クワドラント

E

従業員

- 雇用されて給与を得る
- 安定志向が強い
- 時間と自由に制約

S

自営業者

- 自分で働いて収入を得る
- 専門職や職人を含む
- 働けなければ収入が止まる

B

ビジネスオーナー

- 仕組みと人を動かす
- 自分が動かなくても収益
- 組織とシステムで拡大

I

投資家

- お金に働かせる立場
- 株・不動産・事業投資
- 資産が資産を生む

④ 日本における最初の 一歩—NISAの活用

安を抱える経営者にとって、最初の一步を踏み出すのに適した制度が、国が用意したNISA（少額投資非課税制度）です。

とはいえ、投資という言葉には「難しそうだ」「リスクが大きいのではないか」といった印象が付きまといまふ。こうした不安を抱える経営者にとって、最初の一步を踏み出すのに適した制度が、国が用意したNISA（少額投資非課税制度）です。

（B）「投資家（I）」の4つに分類しています。そして著者は、真に豊かさを築くには「投資家（I）」としての要素を磨くことが不可欠であると説きます。すなわち、自らの労働で得た所得を「さらにお金自身に働かせる仕組み」に転換していくこと。これが将来の安心を生み、次世代へと継承できる資産を築く道なのです。企業経営において投資の重要性を誰よりも理解している私たち経営者だからこそ、個人においても「投資家マインド」を育てる必要があるのではないのでしょうか。

株式や投資信託で得られる利益には、通常約20%の税金がかかります。しかし、NISAを利用すればその利益はすべて非課税となります。2024年からは制度が大幅に拡充され、非課税で投資できる枠は生涯で最大1,800万円まで広がりました。つまり、同じ投資成果でも、NISAを活用するだけで手元に残るお金は大きく異なります。これほど明確に「投資を始めやすくする仕組み」が整っている国は多くありません。経営者として日々企業の将来に投資している私たちだからこそ、個人としてもまずはNISAを活用することが、投資家マインドを磨き、所得を未来に活かすための現実的かつ確実な第一歩となるのではないのでしょうか。

今回は、実チャートなどを参照したり、より具体的な事例を挙げながら、来たるべき未来のために、みなさんと一緒に資産形成について考えていきたいと思っています。



9月の活動予定

状況により中止・変更の可能性もあります

1	月	
2	火	
3	水	印関協 本木祭(四天王寺)
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	OGS役員会 18時～ JPビル8階会議室
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	

ジャグラ文化典 近畿・大阪大会

！総会・文化典・記念式典・懇親会等は20日(土)！
2026年 6月19日(金)～22日(月)

OGS ゴルフコンペ

10月25日(土)神戸パインウッズゴルフクラブ

●集合 8:45 ●1組目スタート 9:15

会費¥5,000(プレー費は各自精算)

若干名募集中です。お申し込みはお早い目に!!

16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	平成会 決算書読解セミナー(注:日程変更)
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

平成会主催 ビジネスセミナー

社長!それ“利益”じゃなく“お金”ですか?
～知らなきゃ損する、お金とリスクの本当の話～

9月24日(水)17時より

●ソニー生命保険会社大阪支社16F会議室

※先着で定員に到達次第締切

●お申込み・お問合せは 平成会 宇野会長まで
(TEL 06-6351-1766 研美社)

参加費
無料

10月以降の予定

10月9日(木) 役員会(JPビル)

25日(土) OGS ゴルフコンペ 神戸パインウッズゴルフ
クラブ SPACE21全国協議会茨城大会

2026年

1月15日(木) OGS 新年互礼会 ウェスティンホテル大阪

役員会報告

日 時: 2025年8月19日(火) 18:00より

場 所: JPビル8階会議室(一部リモート参加)

出席者: 小幡理事長、岡副理事長、木原副理事長、
黒木副理事長、佐藤専務理事、田治理事、田中理事、
中田理事、宗次理事、
オブザーバー: 平成会 宇野会長

報告事項 その他

【ジャグラ本部】

・神奈川県支部創立70周年参加報告

【近畿地協】

・8月29日(金)地協幹事会・説明会・懇親会について
14:30より地協幹事会、その後16:00より地域活性化委
員会 斎藤氏による ジャグラコンパス利用説明会
会場は天満橋・ドーンセンター(懇親会は18時より京月・天満橋店)

【OGS】

・10月25日(土)OGS ゴルフコンペ途中経過報告(現在募集中)

ビアパーティ開催の見送りについて

→来年の全国大会に向けての準備等もあるため今年度は開催中止
※12月3日(木)に開催予定の忘年会へ是非ご参加ください(詳細後日)

・賛助会懇親会を企画(10月29日(水)予定・詳細は後日)

・今後の役員会日程等について

10月9日(木) 役員会(JPビル)

11月5日(水) 役員会(堺・ハウユウさん開催)

12月3日(水) 役員会・OGS 忘年会予定

・オンライン会議システムの導入検討について

【2026ジャグラ近畿・大阪大会】

・会場選定、来賓リスト その他について決定事項の報告
ならびに協議

・8月21日(木)オンライン企画部会長ミーティング開催

【青年部】

スペース21

・10月25日(土)土浦での全国協議会について

平成会

・8月30日 和歌山でフィッシング&バーベキュー

・決算書の読解セミナーは日程を9月24日(水)に変更して
開催予定

【組合員】

・新入会 1社

株式会社オフィスアスカ(代表取締役 山田弘和氏)

33rd JaGra SPACE-21

全国協議会 茨城大会

「AI上等!」

縮小する印刷需要、価格競争に人材不足...

AIの出現をピンチと捉えるかチャンスと捉えるかは自分次第
この状況を恐れず、積極的に打開策を模索する青年であれ!

日付 2025年10月25日(土)

会場 ホテルマロウド筑波

〒300-0042茨城県土浦市城北町2-24



TIME SCHEDULE

14:00 受付開始

15:00~17:20 協議会

17:30~19:10 懇親会

19:30~21:00 二次会

申し込みフォームはこちら/
<https://x.gd/MnHt3>



大阪府グラフィックサービス協同組合広報誌

OGS News

オージーエスニュース No.503 9月号

[発行日] 2025年9月1日 [発行人] 小幡 利之 [編集人] 木原 庸裕

[発行所] 大阪府グラフィックサービス協同組合

〈(一社) 日本グラフィックサービス工業会大阪府支部〉

E-Mail: info@j-ogs.org

URL: http://www.j-ogs.org/